

報道解禁日：1月19日（水）

2010年度 国際交流基金地球市民賞 受賞団体決定

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、日本各地において、その地域の特色を活かして、他のモデルとなるような優れた先導的な国際文化交流活動を行っている団体に対して「国際交流基金地球市民賞」を授賞しています。このたび2010年度の受賞3団体が決定しました。

「国際交流基金地球市民賞」は、1985年より「地域交流振興賞」として実施していましたが、2005年度から現在の名称に変更し、今年度で25周年を迎えました。これまでに76団体が受賞されています（個人1件を含む）。

2010年度は、全国から推薦のあった70団体の中から、下記の3団体が受賞団体に決定しました。



The Japan Foundation Prizes for
Global Citizenship 2010

2010年度 国際交流基金地球市民賞 受賞団体

特定非営利活動法人アクション 東京都武蔵野市 ※東京都からは4年ぶり3団体目

代表者／設立：横田 ^{はじめ} 宗 / 1994年設立

多文化まちづくり工房 神奈川県横浜市 ※神奈川県からは初の受賞

代表者／設立：早川 秀樹 / 2000年設立

特定非営利活動法人ダンスボックス 兵庫県神戸市 ※兵庫県からは3年ぶり5団体目

代表者／設立：大谷 ^{おおたに} 燦 ^{いく} / 1996年設立

※概要は別紙の通り

関連ウェブサイト：<http://www.jpff.go.jp/j/about/citizen/10/press.html>

※こちらから、各団体の画像を入手いただけます（著作権フリー、記事掲載可）。

受賞団体は、それぞれの地域にて、記者発表会の開催を予定しています。

- アクション：1月18日（火）14：00 国際交流基金 JFIC ホール [けやき]
- 多文化まちづくり工房：1月17日（月）14：00 横浜市政記者クラブ
- ダンスボックス：1月25日（火）14：00 神戸市政記者クラブ

また、授賞式は2月21日（月）18：30より、国際文化会館（東京都港区六本木）にて行われ、各団体に正賞（賞状）と副賞（各200万円）が贈られます。

◇本賞に関するお問合せ：

国際交流基金 情報センター 地球市民賞事務局 担当：菅野（かんの）・田島

TEL:03-5369-6075 FAX:03-5369-6044 e-mail：chikyushimin@jpf.go.jp

◇取材のお申込み：

国際交流基金地球市民賞 広報代行 株式会社プラップジャパン 永田・御園生（みそのお）

TEL:03-3486-7991 FAX:03-3486-6871 e-mail：m-misonoh@prap.co.jp

＜受賞団体紹介＞

■特定非営利活動法人アクション（東京都武蔵野市） <http://www.actionman.jp/>

代表者：横田 宗（よこた はじめ）[代表] [2002年に特定非営利活動法人化]

＜活動内容＞ 東京とフィリピン国内3ヶ所に事務所を設け、子どもたちが自力で夢に向かってチャレンジできる環境作りを目指して活動。孤児院の自立運営や卒業生の就労のため、日本の企業から積極的に技術提供や経営指導を受けた支援活動を実践する他、ワークキャンプやスタディツアーの運営により安定した事業収入を得ることで、寄付に頼らない自立した活動を実践している。また、民間企業と提携し菓子袋を再利用したエコブランド「エコミスマ」を立ち上げ、百貨店での販売や企業とのコラボ製品製作を通して、現地女性の雇用創出や自立支援につなげている。

＜授賞理由＞ フィリピンの子どもの夢をかなえる

エコブランドを立ち上げ、社会的起業を目指す日本の若者たちによってフィリピンの子どもの夢が自力で夢に向かってチャレンジできるよう支援している。

■多文化まちづくり工房（神奈川県横浜市） <http://tmkobo.com/modules/d3blog/>

代表者：早川 秀樹（はやかわ ひでき）[代表] [任意団体]

＜活動内容＞ 外国籍住民が約3割を占める県営いちょう団地において、多文化共生のまちづくり、ひとづくりを目指し、主に日本語教室や小・中学校の補習学習を兼ねた学習サポートを行う。また、高齢化の進んだ日本人住民に代わり、地域づくりの担い手として外国籍の若者たちが地域の防災や祭りに積極的に関わり、自分たちの地域を自ら守ろうと、地域防災リーダー「TRYangels(トライエンジェルス)」を結成。多文化まちづくり工房は外国籍の若者の居場所であるとともに、地域住民との交流のきっかけともなっており、地域の自治活動のモデルとして注目されている。

＜授賞理由＞ 多様な文化背景をもつ若者たちによる、地域を守る活動

多様な文化背景をもつ若者たちによる多文化のまちづくり、ひとづくりを目指し、地域の新しい自治活動のモデルを示している。

■特定非営利活動法人ダンスボックス（兵庫県神戸市） <http://www.db-dancebox.org/>

代表者：大谷 燠（おおたに いく）[エグゼクティブ・ディレクター]

[2002年に特定非営利活動法人化]

＜活動内容＞ 阪神大震災において被害の大きかった新長田を拠点に、「つくるダンス」、「みせるダンス」、「交換するダンス」など、先鋭的なコンテンポラリーダンスを神戸から世界に発信する活動を行う。同時に、入団資格が40歳以上という市民劇団「vintage」による演劇や、地域資源としてのダンスを考える映像作品の制作など、地域に根付いた活動を行っている。近年では海外との交流を積極的に図り、ドイツの障がい者劇団やアートNGOとのコラボレーションを実施し、コミュニティ・アートを通じた異文化理解を深めている。

＜授賞理由＞ 地域に根ざし、先鋭的なダンスを神戸から世界に発信

地域に密着したアート・シアターでありながら、国境や文化を越え、多様な文化背景を持つダンサーや市民との交流、コラボレーションを展開している。

選考基準：日本国内の地域を拠点に国際文化交流活動を行っている非営利団体で、以下の点において優れているもの

【先導性】今後の国際文化交流のひとつのモデルとして、他の団体の参考となる活動を行っていること

【継続性】3年以上の活動歴を有し、今後も着実に活発な活動を展開していくことが見込まれること

【地域性】特定の地域に立脚して、地域の特性を活かした活動を行っていること

【自発性】参加者が自発的に活動に関わっていること

【独立性】積極的に自己収入の確保に努め、独立した活動と運営を行っていること

【相互性】（海外の団体と交流を行っている場合）活動が交流相手にとっても意義深いものであること

FAX 返信用紙

FAX: 03-3486-6871 広報代行 プラップジャパン 行

国際交流基金地球市民賞 受賞記者発表会

■アクション : 1月18日(火) 14:00 国際交流基金 JFIC ホール [けやき]

出席 ・ 欠席

■多文化まちづくり工房 : 1月17日(月) 14:00 横浜市政記者クラブ

出席 ・ 欠席

■ダンスボックス : 1月25日(火) 14:00 神戸市政記者クラブ

出席 ・ 欠席

貴社名 _____

ご所属 _____

ご芳名 (ご同行者名:人数) _____

お電話番号 _____

e-mail _____

ご質問・ご希望など _____

なお、お手数ですが、ご出席の場合には、各会場ともに、前日 18:00 頃までに ご返信いただけますよう、お願いいたします

ご記入くださいました情報は、個人情報保護法に準拠した厳正な管理の下にお取り扱いし、今後の広報活動の参考にさせていただきます。